

2024年度 北見縣高等学校シラバス

〔教科〕 〔科目〕	〔理科〕〔化学〕	2年	4単位	教科書	東京書籍「化学基礎」〔化学 Vol.1 理論編〕,〔化学 Vol.2 物質編〕	副教材等	ネオバノート レットライノート〔化学 Vol.1 ~6〕	履修対象・ 使用教室 等	2年3組 フロンティア コース (選択)
教科・ 科目の 目標	・化学的な事象・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察・実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 ・化学的な事象・現象を観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 ・日常生活や社会の化学的な事象・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。								
評価 の 観点	知識・技能	思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度				
	自然の事象・現象について概念や原理・法則などを理解し、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付けている。	自然の事象・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し表現するなど、科学的に探究している。			自然の事象・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。				
評価 方法	＊単元などの授業内容のまとまりごとに「評価の観点」に基づいた観点別評価を行い、〔A:「十分満足できる」状況 B:「概ね満足できる」状況 C:「努力を要する」状況〕とする。 ＊単元などの観点別評価に基づいて、学習全体の総合的な評価を行ったものを「5段階の評定」とする。								
評価 資料 ・ 評価 比重 (100点換算)	評価資料等	予定回数・内容等			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
	小テスト	10回			30%	20%			
	単元テスト	7回			70%	20%			
	実験レポート	5～6回				60%	20%		
	ロイノート提出	5～6回					80%		
	〔観点別配分％〕			(3観点の比重を%で示しています)					
月進行 (計画)	【単元名】 学習項目名	配当 時間 (計画)	学習内容・目標 (到達点) など			主な評価資料		評価の重み付け〔○●〕	
4 5	酸化と還元 酸化還元反応の利用	20	・酸化還元反応が電子の授受によることを理解する。 (1) 酸化・還元の意味を理解し、知識を身に付けている。 (2) 酸化還元反応を酸化数の増減によって判断することができる。 (3) 酸化剤、還元剤のはたらきを理解し、半反応式をもとに酸化還元反応を組み立てることができる。			小テスト	○	○	
						単元テスト	○	○	
						実験レポート		○	○
						ロイノート提出			○
6 7	電池と電気分解 1章 非金属元素	24	電気エネルギーを取り出す電池の仕組みを酸化還元反応と関連付ける。 外部から加えた電気エネルギーによって電気分解が起こることの理解。 反応に関与した物質の変化量が流れた電気量に比例することの理解。 電気分解の利用として、電解精錬や溶融塩電解を理解する。 元素の分類を理解する。 典型元素の性質・水素とその化合物・貴ガス・ハロゲンとその化合物・酸素・硫黄とその化合物・窒素、リンとその化合物・炭素、ケイ素とその化合物について性質や用途を理解する。			小テスト	○	○	
						単元テスト	○	○	
						実験レポート		○	○
						ロイノート提出			○
8 9	2章 典型金属元素 3章 遷移元素	25	・アルカリ金属とその化合物・2族元素とその化合物・アルミニウムやスズ、鉛とその化合物についての性質や用途の理解する。 ・遷移元素について、その特徴や性質などを理解する。 ・鉄とその化合物・銅とその化合物・銀とその化合物・亜鉛とその化合物・クロムやマンガンの化合物・金属イオンの定性分析について理解する。			小テスト	○	○	
						単元テスト	○	○	
						実験レポート		○	○
						ロイノート提出			○
10 11	1章 有機化合物の基礎 2章 脂肪族化合物	28	・有機化合物の特徴と分類について理解する。・飽和炭化水素の性質や反応を、その構造と関連付けて理解する。 ・不飽和炭化水素の性質や反応を、その構造と関連付けて理解する。 ・有機化合物の構造式を決定するまでの過程を学習し、その原理を理解する。			小テスト	○	○	
						単元テスト	○	○	
						実験レポート		○	○
						ロイノート提出			○
12 1	3章 芳香族化合物 1章 物質の状態と変化	28	・芳香族炭化水素の性質や反応を、その構造と関連付けて理解する。 ・フェノール類、芳香族カルボン酸の性質や反応を、その構造と関連付けて理解する。 ・芳香族アミン、アミン化合物の性質や反応を、その構造と関連付けて理解する。 ・芳香族化合物の分離を化合物の性質にもとめて理解する。・物質の状態変化と粒子の熱運動との関係を理解する。 ・気体分子の運動と気体の圧力との関係を理解する。 ・飽和蒸気圧を学習し、蒸気圧曲線を理解する。			小テスト	○	○	
						単元テスト	○	○	
						実験レポート		○	○
						ロイノート提出			○
2 3	2章 溶液の性質	15	・ボイル・シャルルの法則を理解し、その応用を学習する。 ・気体の状態方程式を理解し、その応用を学習する。また、実在の気体と理想気体の違いを理解する。 ・全圧と分圧を学習し、混合気体の見かけの分子量を理解する			小テスト	○	○	
						単元テスト	○	○	
						実験レポート		○	○
						ロイノート提出			○
学習の アドバイス	毎日の授業を大切に、授業を通して化学的な見方や考え方ができるように自分の学習目標を設定して努力することが大切です。 板書事項をそのまま写すのではなく、自分で考えたことや感じたこと、説明されたことをメモし、整理して記入しておく、後に役立つばかりでなく学習にも広がりがあります。 前日に予習しておくこと（教科書に目を通しておくこと）も大切です。								